

2022年5月10日
世界自動車調査月報編集長 安藤 久史

2021年世界自動車販売は5%増の8,251万台、コロナ禍前より1割低い水準

さて、当社では『FOURIN 世界自動車調査月報』2022年5月号(2022年5月10日発刊)にて、「2021年世界自動車販売」をテーマとしたレポートを取りまとめましたので、ご案内を申し上げます。

- 世界81ヵ国自動車販売台数合計は前年比4.9%増の8,251万台
- 2012年以来の8,000万台割れとなった前年からは回復も、コロナ禍以前の2019年比では9.4%減
- グループ別では、トヨタが前年比9.1%増の1,103.9万台となり前年に続き首位を維持

FOURINは2021年の自動車販売統計を集計しました。2022年4月時点で入手できた世界81ヵ国の自動車販売台数(一部推計を含む)を集計したところ、前年比4.9%増の8,251万台となりました。2012年以来の8,000万台割れとなった前年からは回復しましたが、コロナ禍以前の2019年比では9.4%減となっています。

2021年は前年ほど新型コロナウイルスの感染拡大による社会活動の停止措置は敷かれませんでした。年後半には世界的にデルタ株の感染が拡大し、経済回復の足枷となりました。それに加え、世界的な半導体不足が発生し、需要に対して製品が供給できない機会損失が各地で起きたことが市場回復のスピードを鈍らせます。

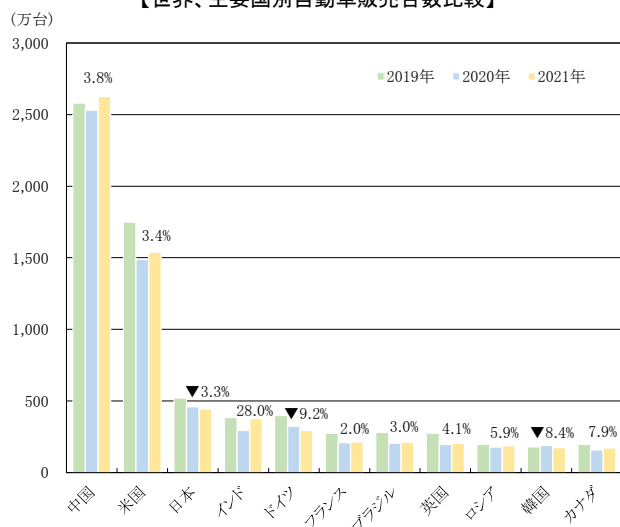
国別では、中国が同3.8%増の2,627万台、米国が同3.4%増の1,539万台といずれも3%台の増加に留まっています。2019年比では中国は1.9%増とコロナ禍以前を上回りましたが、米国は同12.0%減と回復しきれいていません。一方、インドは前年比28.0%増の378.2万台に増加、2019年比でも1.7%減とコロナ禍以前の水準近くまで戻るなど、国により回復状況に差が出ています。

ご参考までに、『FOURIN 世界自動車調査月報』2022年5月号に掲載しますグラフを下記に紹介いたしました。

当プレスリリース内容に関してのご不明な点やご質問は、『FOURIN 世界自動車調査月報』編集長の安藤(TEL:052-789-1143、FAX:052-789-0966、E-mail:h.ando@fourin.com)までご連絡ください。

敬 具

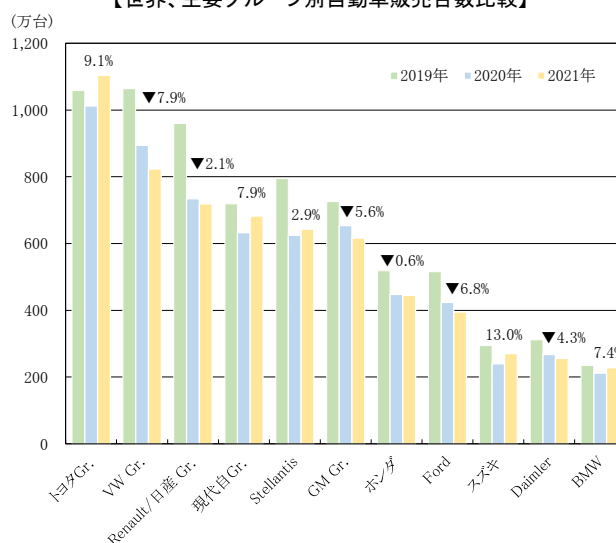
【世界、主要国別自動車販売台数比較】



注)傍線の上の数字は2021年の対前年比。

(各国自工会およびそれに準ずる機関のデータ等よりFOURIN作成)

【世界、主要グループ別自動車販売台数比較】



注)トヨタGr.には2020年以降Subaruを含む。傍線の上の数字は2021年の対前年比。

(各国自工会およびそれに準ずる機関のデータ等よりFOURIN作成)